

広陵周遊

広陵町を遊ぶ道しるべ

見る・歩く
体感マップ

KORYO MAP

歴史の道

馬見古墳群の一隅にたたずんでいると、二上山から木霊の香を含んだ万葉の風がふき、一握の土にもすべて歴史の香がする広陵町です。古人の足跡を辿りながら散策を楽しんでください。

■石造弥勒菩薩像

南郷地区の人たちには昔から「弥勒さん」と呼ばれ親しまれている石仏がある。左肩上に永治二年(1142)の刻名が見られ、県下最古の在銘石仏で遠方から石仏愛好者の見学がある。県指定文化財である。



■聖徳太子の作った大福寺

江戸時代までは東大福寺・西大福寺・弁財天社をもった寺社で、幕府より三十石を与えられ、家康から家茂までの朱印状が残されている。明治初めの神仏分離令により、東大福寺は廃寺、弁財天社は櫛原神社に移り、現在の大福寺となった。本尊は薬師如来座像で、他に県指定文化財の長谷寺式十一面観音像、南宝童子像、難陀竜王像、板絵着色両界曼荼羅が置かれている。



■与楽寺の十一面観音立像

平成7年、与楽寺の十一面観音像の胎内に約700年間保存されていた1尺(30cm)の白檀の美しい十一面観音立像が発見され、平成17年に国の重要文化財に指定された。本尊の弘法大師座像は県指定文化財である。寺の南側には梵字池がある。



■正楽寺

この寺のある古寺地区は集落を環濠で囲まれた独立した地区であった。その中の正楽寺は牛頭社(現在の八坂神社)もその境内にあり、村の中心であった。本堂に2メートルを越える十一面観音立像が祀られ、その豊満な容姿はこの地区を守ってきた力強さを感じられる観音様で、県指定文化財によさわしい見事なものである。



■華麗な百済寺の三重塔



葛城川を渡ると、百済地区に入る。伝承と歴史に包まれたこの地区を象徴するようどの角度から見ても美しい三重塔が目に入る。春の花吹雪に浮かぶ塔、ゆく夏を惜しむむぐらしの鳴き声が終わると、塔下で秋風にかすかにゆれ、ひっそりと咲く萩の群、雪景色に映える三重塔の荘重な姿など、四季ごとに訪れる人を楽しませてくれる。国の重要文化財に指定されている。境内には梵字池がある。



■菓山古墳

広陵町には大小様々な古墳からなる馬見古墳群があるが、その中で最大の古墳がこの菓山古墳である。5世紀初めの葛城地域の王墓と思われる。近年の整備に伴う調査により、出鳥遺構等新たな発見が相次いでいる。国の特別史跡に指定されている。



■南郷環濠集落

戦国時代、大和国には強力な支配者がなく、夜盗・強盗の略奪が横行していた。村人は自衛のため、自分たちの村の周囲を環濠(ほり)で守った。このような集落は大和国には多く、垣内又は大垣内という地名でも呼ばれている。広陵町では南郷に残っていた環濠を美しく整備し、桜の木や藤棚を作り、太鼓橋をかけ、往年のガス燈スタイルの街灯をつけロマンティックな遊歩道として再生させている。



広陵町内バス経路図



テレホンガイド

奈良県庁	0742-22-1101
広陵町役場	0745-55-1001
さわやかホテル	0745-55-4010
クラシス	0745-55-5755
はしお元氣村	0745-57-3232
広陵町立図書館	0745-55-4946
グリーンセンター古殿	0745-55-4431
広陵町商工会	0745-55-3535
南郷二沖センター	0745-56-6011
奈良県観光協会	0745-56-3851
竹取公園管理事務所	0745-55-6040
広陵交通公園	0745-57-0881
広陵中央公民館	0745-55-1181
広陵中央体育館	0745-55-4414
大福寺	0745-56-5484
櫛原神社	0745-56-4457
小北稲荷神社	0745-56-2249
藤玉比女命神社	0745-56-2584
広陵交番	0745-55-2754
近畿大和富田駅	0745-52-2414
奈良五宮駅	0745-77-4851
J日法隆寺駅	0745-74-3800
奈良交通大和富田営業所	0745-73-1123

ホームページアドレス <http://www.town.koryo.nara.jp>
電子メールアドレス info@town.koryo.nara.jp
発行 広陵町

竹取公園周辺

竹取公園周辺は、緑に囲まれた広々とした所です。町立の竹取公園(面積6.5ha)、県立の馬見丘陵公園(計面積65.3ha)、二つの公園とも比較的、小さい子が楽しく遊べる遊具が盛りだくさんで、お子様からお年寄りまで気楽に楽しめる所です。また、この周辺には馬見古墳群があり古代史ファンにも楽しんでいただけます。

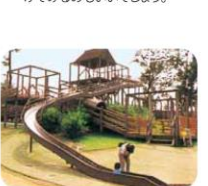
竹取公園

町内で大きな公園と言えばこの「竹取公園」。休みの日には親子連れでおおきわい。自由に遊べる「みんなの広場」や花と緑が美しい「花とせせらぎの広場」。その他、古墳時代の住居を復元した「古代住居広場」などがあります。子供たちに一番人気のある「ちびっ子ゲレンデ」は、スリルとスピード感一杯勇気を出してチャレンジ!



馬見丘陵公園

奈良県立の公園で、広陵町と隣の河合町にまたがった広い公園。園内には、古墳がいっぱいあって、それがそのまま公園の一部になっています。北エリアには「大芝生広場」「花の広場」。中央エリア北には、古代史をわかりやすく説明した「馬見丘陵公園館」「葛蒲園」。中央エリア南には、「史跡ナガレ山古墳」。「夕焼け展望広場」があります。お弁当を持って出かけてみるのもいいでしょう。



■竹取物語と讃岐神社

この神社は千年程前に書かれた延喜式に記載されている古い神社で、その頃に『竹取物語』の冒頭に、竹取翁の名前を讃岐造と書かれ、『竹取物語』は讃岐神社の讃岐造をモデルにして造ったと伝承されている。『竹取物語』ではかぐや姫に求婚する五人の求婚者の名前は壬申の乱に出てくる人の名前と同じで、藤原京に住みこまで通っていたと書かれている。中秋の十五夜には月の世界に帰ったかぐや姫を偲んで、毎年広陵町では「かぐや姫まつり」を行っている。



■小北稲荷神社



倉稲魂命を祭神とする神社で、室町時代にこの地域を支配した善尾氏の崇敬を受け、その保護のもとで社殿が造営される。享保6年(1721)には郡山藩主本田氏から神慶造営の供田の寄進を受け、その後、柳沢氏の家老柳沢里悲も深く信心し、享保21年(1736)一石二斗の田地を寄進した記録が残されている。

■御玉比女命神社

「御玉比女命神社」は神武天皇が大和を統治する前にこの地に天孫降臨された国を創って住んでいた御玉環速日命の妃であり、更にその当時大和を治めていた長髄彦の妹と言われている。なぜ祭神が御玉比女命となつたかは不明だが、千年前に書かれた延喜式神明帳にも記載されている古い神社である。お祭りの時期は毎年10月31日と11月1日に、「戸閉祭」が盛大におこなわれる。



■三吉石塚古墳

馬見古墳群の中央部にある三吉石塚古墳は、古墳時代中期に造られた立貝式古墳で、築造時の後に復元整備したものである。この頂上にあたり、たたずんでいると、どこからともなく木霊の香と万葉の風が1500年前と同じようにひみやかに、当時を偲ぶことができる。県の指定文化財となっている。



■牧野古墳

広陵町の北西端にある牧野古墳は、古墳時代後期に造られた円墳である。昭和58年にされた調査では馬具等多くの遺物が出土し、敏達天皇の第1皇子である押坂彦人(大兄皇子)の成相墓である可能性が高い。広陵町で石室内に入っで見学できる唯一の古墳である。国の指定史跡となっている。

